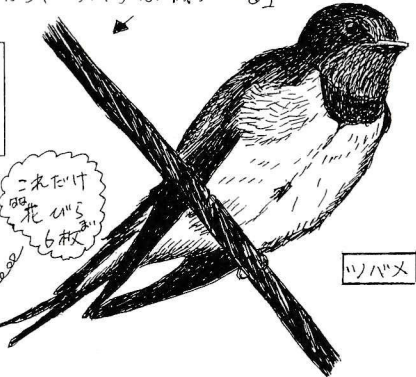


ツバメは、減っていているの？

5月8日、のんほいパークで開催していた、「ホウニカルマルシェ」
出店の方から、「ツバメは減っている」

おおばこ 植田町の自然探し・203 2022.6.24



ツバメ

と聞いたけれど？と話があり、
気になりました。ウエカムニユスでは、
「里山や農耕地の減少」も理由の一つに
身近な友人であるこの鳥の事を今後
も気にかけていきたいです。

伊良湖
まで来ると
無いんだ
よ。も
(テリハノイバラ
はあるのに)

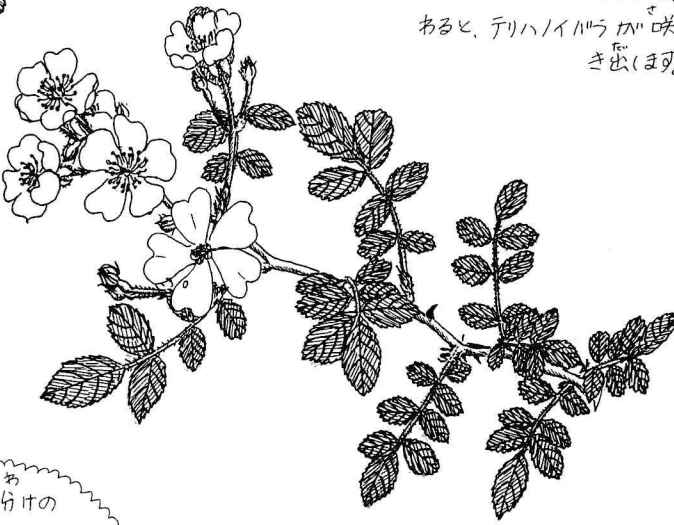


ノイバラ

Noriko M.

ノイバラ 香る季節でした。

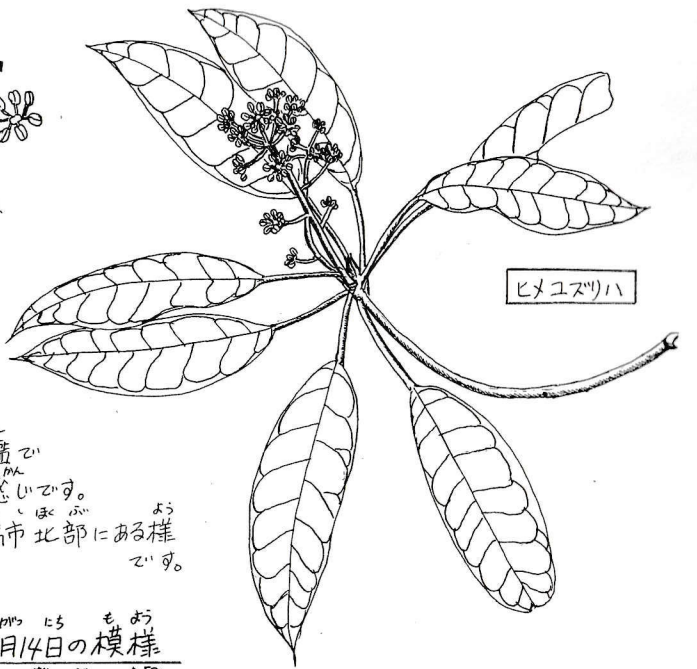
5月の植田でも、白いノイバラの
花が一斉に咲き出し、ほのかに良
い香りが漂って来ていました。ノイバラ
=「野バラ」と聞くと、どこか憧れの気持ち
を持っていました。実際の花は園芸の様な
八重咲きではないですか、花が沢山咲く様子
は素敵です。「花からは普通5枚」と、各回鑑に
ありますか、稀に6枚のものもあ
ります。バラだから、刺も
モチロンある。ノイバラの花が終
ると、テリハノイバラが咲
き出します。



見分けの
ポイントは、この
裏托葉

これも、花 なんだよ。も

おかしな
雄株の
おかしな
雄花



ヒメユズリハ

ツバメ、ヤブヒヨドリ、
カクレミノに次いで植田に
見られる樹ヒメユズリハの花は、
とても、地味〜、です。
赤っぽい小さな雄（ハ）のみの
雄株（雄の木）の花。
ニから花粉が出たの
うか〜？ 此雄株の花
は、もっとも地味で、図鑑で
知って、探して分かる、という感じ
よく似ているユズリハは、豊橋市北部にある様
です。

梅雨入り(東海地方)は6月14日の模様
〜生物暦

かんざつ種目/年	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アザミ開花	5/24	5/24	5/23	5/29	5/22	5/14
ホウネエビ初認	5/20	5/21	5/25	5/22	6/5 (1匹のみ)	5/23
ホトリス通過	5/30	5/14	5/21	5/12	5/25	5/31
トボエビ初認	5/28	5/21	5/30	5/29	5/25	6/1

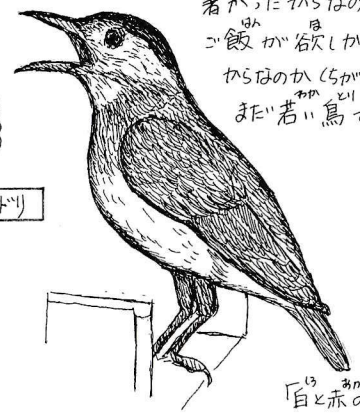
ホウネエビは、二本まで見られてい
た。田んぼが、どう耕作されなく
なり、野内コイランドリーそばの田ん
ぼでの記録になりました。ホトリス
は、今年渡るの、遅め(他で
5月24日の記録も)、そして少ないの
かな？ いよいよ、梅雨入り、と思
たら、この所の予報は晴天続き？
適度な雨は欲しいです。

口を開けているのはどうして？

暑かったからなのか？
ご飯が欲しかった
からなのか(5からかも)、
まだ若い鳥ですね。

4月28日
待地。

ムクドリ



発行：牧野 紀子 (もり〜ゆ)
豊橋市植田町字南柄沢43-2
<http://morigaiisutekisizen.hatenablog.com/>
また今、また番外編を
「う〜ん」として作成中

「正しい」
マニマも
いっしょに
描きます！

訂正と補正
通信番外編、「外来植物の勢いは止ま
ないか????」のマニマ、訂正しくは、301マニマ
マニマ。実際はピンクでしたか？そう呼ぶ方が
「白と赤のマニマ」の母種になる。詳しくは植物図鑑を見て下さい！